

オンラインによる第41回CL勉強会開催

5月29日土曜日 PM1時~4時30、芹澤幸彦氏/スリーウイングス(株) <http://www.3ws3.com/> 主催、年2回開催されているCL勉強会が昨年同様、オンラインで開催され、17名の出席者がありました。今回は南オーストラリア・アデレード在住のCLインストラクターでもある、心理学者のHinora Joseph氏の講演が組み込まれました。Hinoraさんは2004年春奈良内観研究所開催IACL(当時三木潤子所長)に出席されています。また翌2005年夏に同市でIACLを主催しました。同氏が開発したPAC(目的行動サイクル)について、CLとの関係についてなど1時間話され、その後、参加者から活発な質問が出ました。srzw3ws@kamakuranet.ne.jp

季刊誌100号記念に寄せて

2021春号発行後、講読された皆様から100号記念のお祝いのEmailが送られましたので、以下掲載いたします。(敬称略/日付順)

C.S.

4/28

今日の私に、一番嬉しいお知らせでございます。

25年間の継続をありがとうございます。

25年間続けるエネルギーは偉大過ぎて、飽きっぽい私には想像もできない世界でございます。

敬服させて頂くばかりでございます。

5/1

100号記念の記事はワクワク致しました。

村上栄子さんは岩手県の方では?と思いました。

同じ学習会で学ばれていた、小学校の教員退職された方でした。

黄川田千穂さんも一緒に学習会で、宿題として書いたものを、私も含め三人で季刊誌に載せて頂いたことがありました。懐かしい思い出です。

60才を過ぎると、10年、20年の速さに驚くばかりでございます。

村上栄子さんは、数年前に亡くなりました。

東井 晃一

4/28

季刊誌100号、おめでとうございます、そしてありがとうございます。私は2020年春にインストラクターに認定されて、20年。まだまだCLを活かしきれていません、これからです。

今回のレイノルズ先生のパンデミックのいい面、確かに街は静かになりました。山はにぎわっていません。

土曜日は糸魚川の山に山菜採り、友人との語り、子ども達と遊び、山菜を採って食して楽しみました。ごみ、タラの芽、ウド、まだ出始めでした。

ワクチン接種が進んで、日常生活に戻るまでは、まだまだウイルスに注意しながらです。

お会いできる日を楽しみに。

余談

先日から韓国の女性(公文の関係者)と交流しようとハングルを勉強始めました。新しい事を始めるのも大切ですね。この女性は私の友人(列車とバスと船そして徒歩で世界一周を目指して、旅を続けています)の本で知り、その友人に紹介してもらいました。

中浴 佳男(なかさこ・よしお)

4/29

季刊誌 100 号おめでとうございます。

いつも送信していただき、感謝申し上げます。

コロナ禍、私の参加している千葉集談会は ZOOM 使用の遠隔集談会となっておりますが、久々に代表幹事に復帰しました。

早くコロナが終息すれば、貴会との交流の機会も模索しようかと思っております。

これからもよろしく願いいたします。

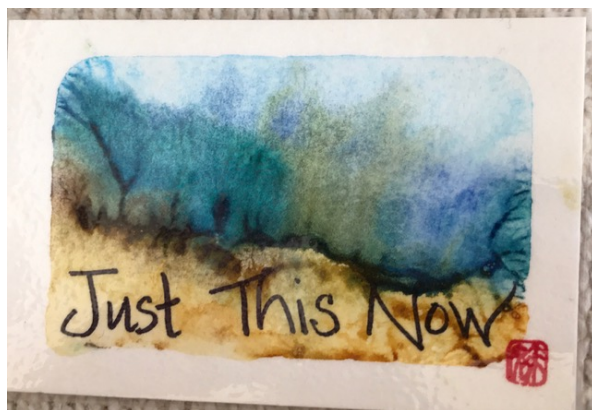
Patricia Ryan Madson

4/30

What a happy surprise to receive your email. I am happy to learn that you are still publishing your CL newsletter in Japan. I hope you and your family are doing well. Both Ron and I are well. We have both had our two Covid vaccines and are grateful for this protection.

During this year I have enjoyed the quiet at home. I've done some writing and some art. I include a brief article and photo here. You are welcome to use it in your newsletter if you like. Also, here is one of my Etegami.

Warm regards, okagesamade



Paul Kroner

5/2

Congratulations on Issue No. 100 of the Japanese CL newsletter! :-) I will mention this milestone in the next CL News and will include a link to Issue No. 100.

I hope that you are staying safe and doing well.

北山 達朗

5/3

先日季刊誌 100 号が届きました。おめでとうございます。

読ましていただき、最初に「ご支援いただいた皆様」に私たち夫婦の名前が載っていました。

私の方こそ、記事や写真を載せていただいて、ありがたかったです。

私は、今年で 60 歳（還暦）になります。

IACL に参加させていただいたり、レイノルズ先生の家遊びに行けたのも、CL をとおして出会いがあったからだと思っています。

一昨年に定年前に 35 年勤めた社会福祉協議会を早期退職して、妻と夢であったヨーロッパ旅行に行ってきました。昨年や今年であったら実現しませんでした。

今は近くの福祉施設で施設長として働かせてもらっています。

職員が 120 名ほど居るので、人との関わりでの相談に CL を活用させてもらっています。

高齢者施設なので、新型コロナの感染には神経をつかっています。

はやく、安心してマスク無での生活ができる日が来ないかと思っていますが、今できる感染予防（マスク、手洗い、3密回避）を行いながら、趣味（ランニング・ドローン）の時間を楽しむことが今の自分にできることとしてやっています。

妻も、CLを活かして、スクールカウンセラーとピアノ講師、調停委員などで働いております。孫も5人となり（県内に在住なので）孫の世話に少々疲れることもあります。

それでも元気に過ごすことができありがたいです。

遠間さんもお身体には気を付けてお過ごしください。

季刊誌100発行のお祝いとお礼のメールをさせていただきました。

ありがとうございます。

御酒本明子

5/5

季刊誌100号それは大したものだわ、おめでとう。

10号ならすぐにでも続けられるでしょうけど100号つづけるのはすごいわ。よく続けたわね。

レイノルズ先生の講演会手伝ったのを覚えてるわ。それから25年間、いろいろたいへんな時もあったでしょ。

尖山山頂から 4/24 東井晃一撮影

<http://koufuusuido.cocolog-nifty.com/blog/> <http://fudosha1990.life.coocan.jp/>

正面の大きな山が大日岳、その左に岩の殿堂劔岳、右側が一般に言われる立山(右端が雄山)。

左側の台形の山が立山、手前谷が落ちている所に称名滝があります。

